



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

発行:2011年3月15日
発行責任者: 鵬友会
特定医療法人社団 事務局長 池島 守

横浜ほうゆう病院長を退職するにあたって

横浜ほうゆう病院 院長 小阪 憲司



平成19年7月から藤澤名誉院長の強い要望をいただき、病院長を勤めさせていただいてきましたが、今年4月末日をもって病院長を辞退させていただくことになりました。3年10カ月の間、大変お世話になりました。もともと2年間のつもりでお受けしたのですが、予定の倍近く勤めさせていただきました。私がやるべきことはほぼやれたと判断し、いつまでも年寄りが病院長をしているよりも人事の若返りも大切と思いましたが、当院就職前から依頼があったMedical Care Court Clinic(DLB研究会や家族会の事務局がある)に4年近くも待たせてしまったことが退職の主な理由です。

当院に来た時に掲げた私の主な目標は、①日本の認知症専門の精神科病院にすること、②外来部門の充実でありました。この2目標はまだ不十分ながらも遂行できたのではないかと思います。ほとんど認知症専門病院としては無名であった病院を日本ではよく知られる病院になったことは確かだと思います。また、来た当時には外来がほとんどなく、お粗末でしたが、今や外来患者が着実に増え、遠方からも診察依頼があり断るのに地域連携室の皆さんが苦勞するほどになりました。それとともに、デイケア患者も増え、職員も充実しました。当院を去ることを発表した

新年の挨拶時の今年
の目標として、1)
新デイケア棟でのデ
イケアサービス

の充実化、2) 外来の改築とさらなる充実化、3) 東3病棟の8床の増床、4) 経営面での一層の努力、5) 病院機能評価を受けることの5項目でした。自分が辞めるのに目標を掲げるのには気がひけましたが、1~3)についてはすでに計画が進んでおり、5)についても昨年取り掛かっており、ほぼ達成できるものと思います。新築や改築があり経費がかかるので、これまで以上に経営面での努力が必要なのは当然でしょう。ここまで道筋がつけられているので、後は後任の院長(日野副院長)にバトンタッチをしたいと思います。私の外来患者が多いので、その半数を毎週火曜日に非常勤医として診療を続けさせていただきますし、久保田院長のご厚意であしたばメンタルクリニックでは顧問として第3水曜日の午後に診療を継続させていただくことになりました。至らないところもいろいろありましたが、優秀な病院のスタッフに助けられて無事退職できそうです。今後の鵬友会の発展を願っております。ありがとうございました。

部署自慢

～23.3.10 横浜ほうゆう病院 院内研修にて～

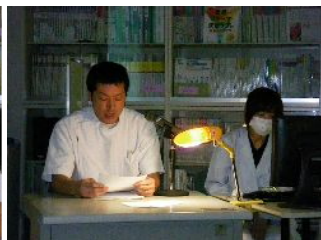
毎年この時期恒例となった“部署自慢大会”。10回目を数える今回は、史上最多の10組総勢18名が参加し、各部署の意地と名誉をかけたアピール合戦が繰り広げられました。発表者は、リハビリの中で“笑い”がもっている力のすごさについて主張したり、驚異の感染力をもったノロウィルスに職員全員で立ち向かった時のエピソードを話したりと、それぞれが違う切り口での発表になり、各部署の事情を垣間見ることが出来ました。

《 演 題 》

①修理について	事務室
②だからあなたに 笑って欲しい	作業療法科
③外来待ち時間調査報告	外来
④退院支援	東1病棟
⑤5Sの取り組み	東3病棟
⑥いろいろな車椅子	西2病棟
⑦大掃除の流れについて	栄養課
⑧平成22年度退院状況	地域医療連携室
⑨ノロウィルス奮闘記	西3病棟
⑩食事指導について	東2病棟



【事務室】



【東3病棟】



【西2病棟】



【栄養課】

横浜ほうゆう病院診療状況

平成22年7～12月

当院の平成22年7月から12月までの6か月の診療状況を報告します。

外来および入院患者さまの状況は、ご覧のように依然として、アルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症・血管性認知症の、いわゆる三大認知症の患者さまが多いことがお分かりになると思いますが、最近では若年性アルツハイマー型認知症の患者さまが増えている傾向です。

認知症は、早期発見・専門医による正確な診断や早期治療をお勧めしています。

外来	新患者数	271人	再来患者数	509人	一日平均患者数	42人
入院	新入院患者数	97人	退院患者数	94人	一日平均患者数	202人

外来・入院患者の疾病別・年齢別
(精神科)

